

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月18日 (2008.12.18)

【公開番号】特開2007-125211(P2007-125211A)

【公開日】平成19年5月24日 (2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2005-320593(P2005-320593)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月31日 (2008.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技状態を統括的に制御する、バックアップ機能を有した第 1 の制御手段と、
前記第 1 の制御手段により開閉が制御される可変入賞装置と、
複数種類の識別情報を動的表示可能な表示装置と、
前記第 1 の制御手段に接続され、前記第 1 の制御手段からの表示演出コマンドに基づいて前記表示装置を制御する、バックアップ機能を有さない第 2 の制御手段と、
を備え、

前記第 1 の制御手段は、

始動口への遊技球の入球を契機に、通常遊技よりも遊技者にとって有利な特別遊技状態へ移行するか否かを決定する特別遊技状態抽選手段と、

始動口への遊技球の入球を契機に、上記特別遊技状態の種類を決定する特別遊技状態種別抽選手段と、

を含むとともに、

前記複数の特別遊技状態の態様として、少なくとも通常遊技中に閉止されていた前記可変入賞装置を第 1 開放時間開放させて遊技球を入球可能とさせる第 1 特別遊技状態と、通常遊技中に閉止されていた前記可変入賞装置を前記第 1 開放時間よりも短い第 2 開放時間開放させる第 2 特別遊技状態と、が備えられ、

前記表示演出コマンドとして、少なくとも前記第 1 特別遊技状態と第 2 特別遊技状態の場合とで共通化され且つそのコマンドの指令により実行される演出表示の表示演出時間が第 1 特別遊技状態の場合よりも第 2 特別遊技状態の場合の方が短くなっている特定表示コマンドを備えた遊技機において、

前記第 2 の制御手段は、

第 1 特別遊技状態と第 2 特別遊技状態とを判別可能とする判別コマンドの受信以降に電源断が発生し、その後電源復帰した場合に、前記第 1 の制御手段から送信される前記特定表示コマンドを記憶しておくコマンド保持手段と、

前記特定表示コマンドを受信してから当該特定表示コマンドにより実行される第 2 特別遊技状態に関する表示演出時間が経過するまでに、表示演出コマンドが受信されなかった

場合に、前記コマンド保持手段が保持している特定表示コマンドを表示演出に使用する表示復帰演出手段と、
を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示復帰演出手段は、

前記特定表示コマンドにより実行される第 2 特別遊技状態に関する表示演出時間を記憶する記憶手段と、

前記特定表示コマンド受信した場合、当該受信以降の経過時間に対応して更新するタイマと、

前記タイマの計測結果と前記記憶手段に記憶されている表示演出時間とを比較し、該表示演出時間が経過するまでに前記特定表示コマンドの次に続く表示演出コマンドを受信しなかったか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段が表示演出コマンドを受信しなかったと判定した場合には、電源断発生時の特別遊技が第 1 特別遊技状態と認定して、前記コマンド保持手段に保持されている特定表示コマンドに応じた第 1 特別遊技状態の表示演出を実行する表示演出実行手段と、
を有することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特定表示コマンドは複数備えられるとともに、前記記憶手段は前記複数の特定表示コマンド毎に、各特定表示コマンドにより実行される第 2 特別遊技状態に関する表示演出時間をそれぞれ記憶し、

前記判定手段は、前記タイマの計測結果と前記記憶手段に記憶されている受信した特定表示コマンドに対応する表示演出時間とを比較し、該表示演出時間が経過するまでに前記特定表示コマンドの次に続く表示演出コマンドを受信しなかったか否かを判定し、

前記表示演出実行手段は、前記判定手段が表示演出コマンドを受信しなかったと判定した場合には、電源断発生時の特別遊技が第 1 特別遊技状態と認定して、前記コマンド保持手段に保持されている特定表示コマンドに応じた第 1 特別遊技状態の表示演出を実行することを特徴とする請求項 2 記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 2 の制御手段は、電源復帰後から、前記コマンド保持手段に保持されている特定表示コマンドに応じた第 1 特別遊技状態の表示演出が実行されるまで、遊技待機画面を表示することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記第 2 の制御手段と電気的に接続される音響装置を備えるとともに、

前記第 2 の制御手段は、音声音響信号生成手段と、音声情報保持手段とを更に備え、

前記判定手段が表示演出コマンドを受信しなかったと判定した場合には、前記音声音響信号生成手段は、電源断発生時の特別遊技状態が第 1 特別遊技状態と認定して、前記音声情報保持手段から前記表示信号保持手段に保持されているコマンドに応じた第 1 特別遊技状態の音声音響データを読み出して、この音声音響データに基づき音声音響信号を生成し、この生成した音声音響信号を前記音響装置へ送信することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の遊技機。